

## 講座詳細情報

H08-6	保育士養成科(幼児保育学科)	定員	1～25人
訓練実施施設名	埼玉東萌短期大学		
所在地	埼玉県越谷市新越谷2-21-1		
連絡先電話	048-987-2345		
最寄駅	JR武蔵野線 南越谷駅・東武スカイツリーライン 新越谷駅 西口 徒歩15分		
訓練期間	令和8年4月1日(水) ～ 令和10年3月10日(金) [予定]		
訓練時間	午前 9時15分 ～ 午後 2時40分 ( 90分 1時限 : 1日 3時限)		
自己負担額	テキスト 60,000円程度 その他 47,000円程度(保険・研修費・会費等)+オンライン通信費		
オンライン授業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 使用するソフト等 (GoogleWorkspace等を利用、状況により実施) <input type="checkbox"/> 無		
修了で得られる資格	短期大学士(保育学)、保育士資格		
受講で目指せる資格	幼稚園教諭2種免許状、レクリエーション・インストラクター資格、自然活動体験指導者(NEALリーダー)資格、おもちゃインストラクター資格、認定絵本士資格(各資格の取得費用は別途必要)		
目標とする人材像	自尊・創造・共生の力を育てることを通して、豊かな教養と感性および保育・幼児教育の専門的な知識と技能を身につけ、人間力を備え、子どもへの愛情あふれる実践力のある保育者となる人材		
修了後の関連職種	保育所(園)・児童養護施設・児童厚生施設・児童自立支援施設・母子生活支援施設・乳児院・認定こども園等		

科目		教科	内 容	時限数
1 年 次	・基礎教養科目	基礎ゼミ	短期大学の学修の導入にあたり、学問的な方法の基礎を学ぶ。	15
	(卒業必修)	基本ゼミ	学修を中心とした自立的な生活習慣を確立し、行事への取り組みを通して企画・立案・実施・活動評価を実施する。	15
		英語コミュニケーションⅠ	「読む」「書く」「話す」「聞く」の4技能を取り入れ、英語コミュニケーションの基本を身につける。	15
		情報機器演習Ⅰ	パソコンとネットワークの基本的な使い方を習得し、実践で活用するために必要なコンピュータ・リテラシーを身につける。	15
		保育技能Ⅰ	保育現場の保育活動に必要な保育技能を身に付け、豊かな保育実践を展開できるよう、保育技能を深く学習する。保育実習、教育実習で役立つ保育技能を習得する。	15
		保育技能Ⅱ	保育現場の保育活動に必要な保育技能を身に付け、豊かな保育実践を展開できるよう、保育技能を深く学習する。保育実習、教育実習で役立つ保育技能を習得する。	15
	・専門科目	幼児と健康Ⅰ	運動遊び、身体表現などの子どもの生活と遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を習得する。	15
	(卒業必修)	幼児と音楽表現Ⅰ	身近な自然やものの音や音色、人の声やピアノ等に親しむ体験などの、子どもの生活と遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を習得する。	15
		幼児と造形表現Ⅰ	フィンガーペインティングや表現遊び等を通して、身近な自然やものの色や形、感触やイメージ等に親しむ体験などの、子どもの生活と遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を習得する。	15
		教育原理	教育の意義、目的及び乳幼児期の教育の特性と教育と子ども家庭福祉の関連性を理解する。	15
		保育原理	保育の意義及び目的について理解し、保育に関する法令及び制度を学ぶ。	15
		教育心理学	子どもの心身の発達及び学習の過程について、心理学的な知識を身に付け理解する。	15
		保育内容総論	保育所保育指針等における「保育の目標」「育みたい資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と「保育の内容」の関連を理解する。5領域の学びと共に、それらを総合的にとらえる視点を養い、保育の全体構造の理解に基づいて、子どもの理解や保育方法について学ぶ。	15
		保育内容(健康)指導法	健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う。	15
		保育内容(環境)指導法	周囲の様々な環境に好奇心や探究心を持って関わり、それらを生活に取り入れていくとする力を養う。	15
		保育内容(言葉)指導法	経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う。	15
	(保育士必修)	教職概論(保育者・教師論)	現代社会における保育職・教職の意義を踏まえ、保育者・教員の役割と倫理を理解する。	15
		子ども家庭福祉	子どもは家庭や社会との相互関係の中で成長・発達していくという基本的な考えのもとに、子ども家庭福祉の意義と歴史的変遷、現状と課題、動向と展望を理解する。	15
		社会福祉	現代社会における社会福祉の意義と歴史的変遷及び社会福祉における子ども家庭支援の視点について理解する。	15
		子どもの保健	子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解する。	15
		保育内容(音楽表現)指導法	子どもの発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて、音楽的表現を豊かに展開できる生活についての具体的な指導場面を想定して、保育を構想する方法を身に付ける。	15
		乳児保育Ⅰ	乳児保育の意義・目的と歴史的変遷及び役割、並びに乳児保育の現状と課題についての理解を深める。	15

## 主なカリキュラム

学科・演習	2 年 次		障害児保育Ⅰ	障害児保育を支える理念や歴史的変遷について学び、障害のある子どもの地域社会への参加・包容（インクルージョン）及び合理的配慮と障害児保育の基本を理解する。	15
			保育実習指導Ⅰ	保育実習の意義・目的を理解する。実習の内容を理解し、自らの実習の課題を明確にする。	15
		(保育士選択科目)	幼児と音楽表現Ⅱ	伝統芸能を含む様々な幼児の音楽表現活動を学び、実際にグループで音楽劇に取り組み発表会の準備を行うなかで、協働して表現することを体験する。	15
			幼児と造形表現Ⅱ	幼児造形表現技法を用いて、テーマを設定しての作品製作を考案し、年齢に適した活動を計画する。また、季節や行事を表現する壁画製作、子ども向けおもちゃ製作を行い、専門的事項についての知識・技能、表現力を身に付ける。	15
		・基礎教養科目	発展ゼミ	1年次の様々な活動から省察することの大切さを知り、更なる実践的な学びを発展させる。	15
		(卒業必修)	統合ゼミ	2年間の学修の総仕上げとしてのまとめを行い、保育者としての仕事と短期大学での学修を結びつける。	15
			体育理論	スポーツの意味や素晴らしさに加え、運動技能や体力を合理的に向上させるための科学的知識や方法を学び、スポーツの歴史や文化的意義などを総合的に捉え、体育の必要性を考えていく。	8
		(選択科目)	日本国憲法	日本国憲法の基本原則を理解し、基礎的な知識を習得する。	15
		・専門科目(卒業必修)	保育内容(人間関係)指導法	他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人と関わる力を養う	15
		・専門科目	幼児と言葉	子ども自らが児童文化財(絵本、紙芝居、人形劇、ストーリーテリング等)に親しむ体験などの、子どもの生活と遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を習得する。	15
		(保育士必修)	子ども家庭支援論	子育て家庭に対する支援の意義・目的を理解し、保育の専門性を活かした子ども家庭支援の意義と基本について学ぶ。	15
			社会的養護Ⅰ	現代社会における社会的養護の意義と歴史的変遷、社会的養護の制度と実施体系、社会的養護の対象や形態、関係する専門職等、社会的養護の現状と課題を学ぶことにより、社会的養護の基本的な考え方及び児童福祉施設等における保育の本質と目的等について、理解する。	15
			子ども家庭支援の心理学	生涯発達に関する心理学の基礎的知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題について理解する。	15
			子ども理解の理論と方法	子ども理解の意義を理解し、子ども理解に基づく養護及び教育の一体的展開、子どもに対する共感的な理解と関わりを理解する。	15
			子どもの食と栄養	健康な生活の基本としての食生活の意義を理解し、栄養に関する基本的知識を身に付ける。	30
			教育課程論	カリキュラムの基礎理論を学び、保育の計画と評価の意義及び子どもの理解に基づく保育の過程とその全体構造を理解する。	15
			乳児保育Ⅱ	3歳未満児の発育・発達過程や特性の理解に基づく援助や関わり、及び乳児保育における生活と遊び、配慮の実践を理解し、それを踏まえて乳児保育における計画の作成について理解する。	15
			子どもの健康と安全	アレルギー対応、感染症対策、事故防止、事故発生時の対応などについて、関連するガイドラインや近年のデータに基づいて具体的に理解していく。	15
			障害児保育Ⅱ	障害児その他の特別な配慮を要する子どもの保育における計画の作成や援助の具体的な方法を理解する。	15
			社会的養護Ⅱ	社会的養護の基礎的な内容、及び施設養護と家庭養護の生活特性と実際を理解する。社会的養護における支援計画を作成し、記録及び自己評価について理解する。	15
			子育て支援	保育の専門性を背景とした保育士の保護者に対する相談、情報提供、行動見本の提示等の保育相談支援について、その特性と展開を具体的に理解する。	15
			保育・教職実践演習(幼稚園)	保育者の意義や役割、職務内容、子どもへの責任、倫理や社会性、対人関係能力、子どもやその家庭の理解、職員間の連携、関係機関との連携及び保育や子育て家庭への支援の展開が習得、形成されたか、自らの学びを振り返り把握する。	15
			保育実習指導Ⅱ	保育実習の意義・目的を理解する。実習の内容を理解し、自らの実習の課題を明確にする。また、実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等を理解する。	15
		(保育士選択科目)	保育内容(造形表現)指導法	子どもの発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて、造形的表現を豊かに展開できる生活についての具体的な指導場面を想定して、保育を構想する方法を身に付ける。	15
			幼児と造形表現Ⅲ	粘土を用いた表現、ジオラマのグループ製作を通して、身体感覚によりイメージと感性を豊かにし、専門的事項についての知識・技能、表現力を身に付ける。	15
			保育実習指導ⅢまたはⅣ	児童福祉施設等の役割や機能を実践を通して理解する。また、家庭と地域の生活実態にふれて、子ども家庭福祉、社会的養護、障害児支援に対する理解をもとに、保護者支援、家庭支援のための知識、技術、判断力を習得する。	15
実技・実習	1 年 次	・基礎教養科目	体育実技	保育者として、自身の体力の維持増進を図ると同時に、様々な運動の特性を知り、運動技能の向上を図る。	15
	2 年 次	・専門科目	保育実習Ⅰ	保育所の役割や機能をもとに、観察や子どもとの関わりを通して子どもへの理解を深める。	40
		・専門科目	保育実習Ⅱ	児童福祉施設等の役割や機能をもとに、観察や利用児・者との関わりを通して、施設を利用する子ども等への理解を深め、個々の状況に応じた援助とかわりを考え、施設における生活と環境を理解する。	40
			保育実習Ⅲ または保育実習Ⅳ	既習の授業科目や保育実習Ⅰの経験を踏まえ、子どもの保育及び子育て支援について総合的に理解する。児童福祉施設等の役割や機能を実践を通して理解する。	40
		学習評価	定期試験	中間試験、期末試験、卒業試験、成績発表の登校日等	
		科目登録等ガイダンス		科目登録等ガイダンス日、次年度クラス発表等	
		入学式	入学式(同日に入校式を実施)		
		健康診断	健康診断		
学校行事等	1 年 次	新入生研修	新入生研修		
		東萌祭	大学祭(学生主体の模擬店や舞台発表など)		
	2 年 次	健康診断	健康診断		
		東萌祭	大学祭(学生主体の模擬店や舞台発表など)		
		卒業式	卒業式(同日に修了式を実施)		
就職		就活スタートアップ講座	保育の仕事とライフデザインを考える。		1
		就職講演会・就職直前講演会	保育所や認定こども園等の園長先生や人事担当者、本学卒業生等から、保育現場での働き方や就職活動のポイント等について学ぶ。		2

支援	就職試験対策講座	立ち居振る舞いの基本、履歴書の書き方、就職面接の基本を学ぶ。	2
	キャリアコンサルティング	キャリアコンサルティング	3
	入校式・オリエンテーション	入校式・オリエンテーション	2
	ガイダンス・修了式	ガイダンス・修了式	2
		総時限数	875
		総時間数	1750